

破綻国家の理論的・現実的射程

遠藤貢(東京大学)

はじめに

国家破綻状況とアフリカ国家論第2期

提起される問題：理論的課題・現実的対応

1. 国家破綻をめぐる議論と論点

ザートマン(William I. Zartman) (Zartman, ed., 1995) の基本認識

第一に主権に基づく権威(正統性)(sovereign authority)

第二に意思決定を行うための目にみえる組織(tangible organization of decision-making)、

第三に統合の象徴となるべきもの(intangible symbol of identity)

ハーバード大学における「破綻国家プロジェクト」(Rotberg, 2003a; Rotberg, 2003b)

分類、ただし基準自体はそれほど明確ではない。現状をベースにした連続的な範疇化

「弱い国家」(Weak States)

「失敗しつつある国家」(Failing States)

「失敗国家」(Failed States)

「崩壊国家」(Collapsed State)

破綻国家状況下の「社会」認識と「現実」

「均衡」としての紛争と持続可能性(政治経済学的な紛争の説明)

「単にある政治システムの崩壊を意味するだけではなく、利益、権力、保護までも含む新たなシステムを創出する方法となっており」、このもとで「『軍閥』などのより支配され、国際的なネットワークに結びついた紛争経済、略奪によって利益を得るギャングが生み出される」(Keen, 1998)

「規制上の権威」の生成(Roitman, 2001)

チャド盆地(Chad Basin)の事例：富の蓄積を行う多様なネットワークの形成

ネットワーク：反政府勢力のリーダー、地元の商業エリート、さらに給料以上に違法な公益に利益を見出した軍人からなる「商軍同盟」(commercio-military alliances)

「同盟」：実質的にその支配下の領域を「管轄地」とする、「規制上の権威」(regulatory authority)として機能(様々な料金徴収の活動)、「雇用」創出、「治安」提供機能を通じた「正統性」、「影のアソシエーション」(shadow association)

なぜ国家は破綻し、「軍閥政治」が現れたのか？

「通説」：グローバル化の侵食効果によって国家の基盤が弱体化したことでアフリカでは政治の衰退が生じている

「修正的議論」：、アフリカのグローバル経済への再統合の様式、あるいは新たな政治的な適応様式(political accommodation)として理解されるべき現象

2. 理論的問題：「主権」概念をめぐって

クラスナーによる「主権」の4つの意味：

「国内的主権」(domestic sovereignty)：国家内の権威の構造と国家の支配の能力

「相互依存的主権」(interdependence sovereignty)：国境を越えて移動する商品、資本、人などの管理にかかわる公的権威の能力

「国際法的主権」(international legal sovereignty)：国家間の相互承認により得られるもの

「ウェストファリア的主権」(Westphalian sovereignty)：定の領域内(国内)の政治的な権威が外部の主体から自律している、あるいは、外部主体の影響を受けないということを示すもの

権威(authority)と支配(control)という二つの概念

「権威」とは、ある主体が特定の活動(他に命令を与える権利を含む)に関与できる権利を有していることを相互に認め合っていることに由来するもの

「支配」とは、権威を相互に認め合うということがないまま、暴力を通じても達成可能のもの

「国内的主権」は「権威」「支配」両方を含む

「相互依存的主権」は「支配」のみを含む

「国際法的主権」と「ウェストファリア的主権」は、「権威」のみを含む

適用と解釈

冷戦期のアフリカ

「国際法的主権」と「ウェストファリア的主権」を所与(国際規範)としながら、「国内的主権」を犠牲としながら、「相互依存的主権」を利用する状態

経済・政治改革期：「主権」への挑戦

コンディショナリティーの「押し付け」

「ウェストファリア的主権」の侵食、「相互依存的主権」への制約

「国内的主権」の問題化

国家破綻、「軍閥政治」：「主権」の部分的回復戦略

「相互依存的主権」側面の突出(擬似的な「国内的主権」)

新秩序(?)への制約としての「国際法的主権」という課題

3. 理論的・現実的課題：グローバル化の下での新たな力学と主権国家体系の狭間

国家が極度の擬制（フィクション）としてしか存在しえておらず、「民間」の主体が様々に関与することによって生まれた経済的な機会を利用して形成された）それに代替しうる「国内的主権」を体現する実体的な政治組織がある場合でも、既存の国家と国境の存続を原則としながら、依然として「国際法的主権」「ウェストファリア的主権」を重視する規範のもとで、「国際」的に（間国家的に）形成されている主権国家体系が強い制度的な機制として働いていることにより、国境の変更を伴う新たな主権国家の誕生はごく例外的な措置とならざるを得ない現状の存在

グローバル化のもとでの世界におけるこうした両義性の下に生じている、アフリカにおける「均衡としての紛争」

「主権の所在のミスマッチ」：普遍的な組織原理としての主権の時代は終焉したという主張、アフリカにおける国家の破綻は、主権がこれまで置き違えられてきたことを反映したものだとする見方

国家破綻状況からの復興の方向性に関する議論の方向性は？

- ・ 国民国家、法の支配の確立という「支配的」選択肢
- ・ 「主権の置き直し」（あるいは「自決原則」の問い直し？）：資源化している国境線の変更というそれ自体非常に大きな問題を内包していることもあり、主権国家体系として対応は困難

リンクレーターらの国際政治理論における世界秩序構想（再編されるウェストファリア体制）と現状のギャップ：

主権は国民国家に排他的に帰属するのではなく、多様なレベルの政治共同体によって分かち持たれ、各政治共同体の関係は水平的と見る見方（重層的な政治共同体、市民権の変容）

見え難い「出口戦略」

参照文献

(邦文)

篠田英明, 2003, 『平和構築と法の支配：国際平和活動の理論的・機能的分析』創文社

(欧文)

Bayart, Jean-François, "Africa in the World: A History of Extraversion," *African Affairs*, Vol.99, No.2, 2000

Clapham, Christopher, 1996, *Africa and the International System: The Politics of State Survival*, Cambridge: Cambridge University Press.

-----, 1999, "Sovereignty and the Third World State," in Jackson, ed., 2001.

-----, 2003, "The Global-Local Politics of State Decay," in Rotberg, ed., 2003a.

Herbst, Jeffrey, 2000, *States and Power in Africa: Comparative Lessons in Authority and Control*, Princeton: Princeton University Press.

Keen, David, 1998, *The Economic Functions of Violence in Civil Wars*, Adelphi Paper 320, Oxford: Oxford University Press.

Krasner, S.D., 1999, *Sovereignty: Organized Hypocrisy*, Princeton: Princeton University Press.

-----, 2001, "Rethinking the sovereign state model," *Review of International Studies*, Vol.27, pp.17-42.

-----, ed., 2001, *Problematic Sovereignty: Contested Rules and Political Possibilities*, NY: Columbia University Press.

Linklater, Andrew, 1998, *The Transformation of Political Community*, Oxford: Polity.

Nordstrom, Carolyn, 2001, "Out of Shadows," in Callaghy, Thomas, et al., eds., 2001.

Reno, William, 1998, *Warlord Politics and African States*, Boulder: Lynne Rienner.

-----, 2000, "Africa's Weak States, Nonstate Actors, and the Privatization of Interstate Relations," in Harbeson, John W. and D. Rothchild, eds., *Africa in World Politics (Third Edition): the African State System in Flux*, Boulder: Lynne Rienner, 2000.

-----, 2001, "How sovereignty matters: international markets and the political economy of local politics in weak states," in Callaghy, et al., eds., 2001.

Roitman, Janet, 2001, "New sovereigns? Regulatory authority in the Chad Basin," in Callaghy, Thomas, et al., eds., 2001.

Rotberg, R I., ed., 2003a, *When States Fail?: Causes and Consequences*, Princeton: Princeton University Press.

-----, ed., 2003b, *State Failure and State Weakness in a Time of Terror*, Washington, D.C.: Brookings Institution Press.

Zartman, I. William, ed., 1995, *Collapsed States: The Disintegration and Restoration of Legitimate Authority*, Boulder: Lynne Rienner.